

Gor for it!!

豊中市立第五中学校
第62期
第3学年 学年通信第10号
2015年6月12日

～実力テスト・各教科からのコメントです

修学旅行からちょうど一週間後、初めての実力テストが行われました。実際の高校入試などを意識しての1日でしたが、持てる力は発揮できましたか。早速週明けには答案も返却されています。今回の経験と気づいた課題、そして以下のコメントも参考に取り組みを始めていきましょう。日常の学習もありますので、とにかくその時その時の“やるべき優先順位”を考えて実行に移す習慣をつけていきましょう。

【英語】

今回の実力考査は、振り返る点の多い結果となりました。「実力考査＝難しい」と思い込み過ぎている人が多いように感じます。確かに簡単なテストではないですが、これまでの復習がどこまでちゃんとできているかを確かめるのが「実力考査」。ですから、今回の点数が示している内容を真摯（しんし）に受け止めて、日々の授業に対する姿勢、日々の課題に対する取り組みについて、ここで立て直して行ってほしいと思います。1・2年生の内容、3年生になって習った「受動態」「現在完了」の中で、自分がわかっていないところからスタートしましょう。1年生の最初（be 動詞）から復習するのもいいでしょう。復習するのに遅いも早いもありません。今自分がやらなければならないことに、意識を向けて実行していけば、本番の入試までに十分に間に合います。あきらめるにはまだ早い！ここからが入試に向けての本当のスタートですよ！みんなで頑張りましょう。 さあ、次は2週間後の期末考査です。Never give up!!

【数学】

第1回実力テスト、お疲れ様でした。結果を見ると予想平均点より10点～15点ほど低かったのでもっと心配しています。「難しい問題が解けなかった」というより、全体的に「基本の計算問題でミスが多い」「基本的な知識を使って解く一問一答問題ができていない」ということが結果から見えてきました。1・2年生で学習した内容ができていないという点は中間テストに続いて同じ傾向でした。

各問いについてです。③(4)、⑥、①②(3)は難しかったと思いますが、残りの問題は受験では標準的な難易度の問題でした。単位ミス等、答え方について注意すること、作図については必ず付けなければならない直角や辺の長さが等しい印を図中につける習慣が大切です。

今後の手立てとして、まずは間違った問題の中で30点分をしっかりと復習して「次回はできる」「次回は大丈夫」といえる状態まで頑張ってください。「あなたの課題はどの分野ですか」と問われたときに答えられるように考えてみましょう。

数学は現在進行形で今も学習は進んでいっています。今後も今学習している場である授業を一番大切にしながら、諦めず地道に頑張ってください。

【社会】

地理的分野 50 点、歴史的分野 50 点の配点で行われました。GW前には設定範囲を示し、副教材をベースに復習を始めてもらいましたが、残念ながら手が回らないまま当日を迎えた人が大半でした。問題集ノートの提出内容からもそれは想像できました。提出されたノートの記述状況とテストの成果とがまったくかみ合わない状態（ただ解答集のことばを書き写し、その横に赤ですべて丸を書く、というもの）が少なからずありました。どう見ても提出のための間に合わせ作業をただの姿でしかなく、なんの学習効果も感じられませんでした。一方、ノートすら出さないまま今に至っている人も多く、心配です。まだまだ意識の低い人が見られます。これを機に、不十分だった分野から取り組みを再開してください。

出題された各問題は、副教材の中に提示されている項目を基に作成されていましたが、時差計算や世界の気候分類、古代から中世にかけての基本事項の整理などは今後とも復習が必要です。ただし次回は地理・歴史とも学習項目が違います。今回うまく進められなかった人も夏休みを中心にしっかり復習してください。問題集ノートも有効に活用しましょう。

【国語】

初めての實力テストで、何を学ばばいいのかわからない人や、緊張していた人が多くいましたね。点数も、定期テストとくらべてずいぶん下がった人も多くいました。あと3回あるので、解き方や復習の仕方など、徐々に慣れていきましょう。第2回目からは、小説や短歌、俳句なども新たに出题される予定です。夏休みに一通りは復習が終わるように、計画を立てましょう。

今回の国語の出题分野は、「随筆・古文・説明文・詩・文法・ことわざ」でした。

これからの勉強の方法として、授業でやってきた内容はノートと定期テストをもう一度見直します。また、文章は、『国語便覧』からの出題も多くありました。普段も、ぱらぱらとページをめくって、見るだけでも効果があります。目で慣れていきましょう。基本的な専門用語は、『国語便覧』と『総合問題集』でもう一度復習しましょう。何度も声に出して読み、書き、考え、あきらめずに苦手な分野にチャレンジしていきましょう。

【理科】

1年生の範囲からの出題でしたが、週末の課題の確認が不十分なままテストに臨んでしまったような印象でした。まずは、『3年生の総整理』にきちんと取り組み、間違えた問題や自信のない問題を中心に、とき直しをしましょう。分からない問題はそのままにせず、解決できるよう努力しましょう。

植物のところ、地震・火山のところは覚えられるところから取り組みましょう。化学変化のところ、光・圧力・浮力のところは難しい印象があるかもしれませんが、基本的な問題でミスをしないようにしましょう。今回の光の道すじの作図は必ずできるようにしておいてください。これから、夏休みにしっかり復習をして、次の實力テストに臨みましょう！

「今日の一言」

「世の中で一番楽しく立派なことは、一生涯を貫く仕事を持つことです。

世の中で一番みじめなことは、人間として教養がないことです。

世の中は一番さびしいことは、する仕事のないことです。

世の中で一番みにくいことは、他人の生活をうらやむことです。

世の中で一番尊いことは、人のために奉仕し決して恩に着せないことです。

世の中で一番美しいことは、すべてのものに愛情を持つことです。

世の中で一番悲しいことは、うそをつくことです。」

(福沢諭吉:ふくざわ ゆきち・1835年生～1901没 明治時代の思想家・慶應義塾創立者)